

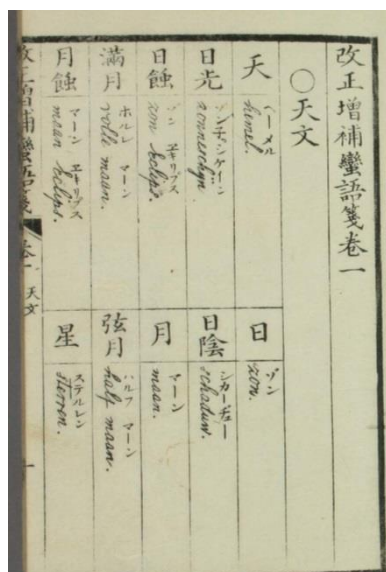
江戸時代のオランダ語学習

—入門書と辞書—

鎖国体制下、西洋諸国の中ではオランダのみ、日本への渡航が許されていました。西洋の科学や地理に関する情報は、中国からもたらされる漢書からも知ることができましたが、18世紀後半になると、直接、オランダ語でヨーロッパの学問が学ばれるようになりました。

特に幕末には、国防の必要性から、多くの新しい知識や技術がオランダを通じてもたらされています。

当時の人々はどのようにオランダ語を学んだのでしょうか？今回の小展示では、知識吸収の前提となるオランダ語学習に関する史料を紹介してみます。



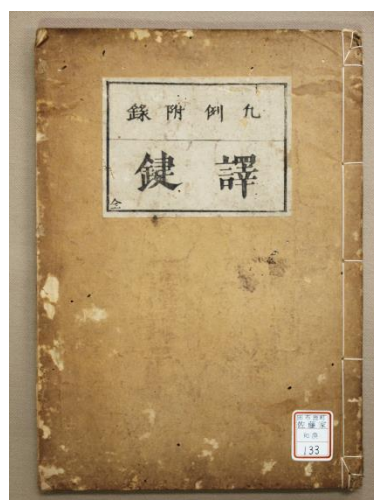
史料1 森島中良の著したオランダ語小辞典『蛮語箋』

森島中良は、著名な蘭学者である兄・桂川甫周（解体新書の訳出に参画）を通じ、蘭学の知識を得ました。『紅毛雑話』を著し、西欧の新知識を紹介したことでもよく知られています。

『蛮語箋』は、オランダ語を天文・地理・動物・草木などの部に分け、日本語に訳して紹介したものです。原題は『紅毛語彙類集』で、展示している史料は箕作阮甫による増補改訂版です。

太陽は英語ではsun（サン）、オランダ語ではzon（ゾン）。月は英語ではmoon（ムーン）、オランダ語ではmaan（マーン）など、英語と類似していることがわかります。

（小田家文書（山口市吉敷）4「改正増補蛮語箋」）



史料2 蘭和辞典『訳鍵』

—『ハルマ和解』のコンサイス版で吉田松陰も購入—

『ハルマ和解』は稲村三伯が著したわが国最初の蘭和辞典です。これはフランス人ハルマの手による蘭仏辞典を邦訳したもので、およそ7万語を収録する膨大なものでした。

『訳鍵』は、この『ハルマ和解』を扱いやすくするため、稲村三伯の弟子藤林普山が、『ハルマ和解』から語を抽出したコンサイス版です。「乾」・「坤」2巻の辞書部分と、オランダ語の文法を簡単に記した「凡例附録」1巻の全3巻からなっています。展示史料は「凡例附録」の部分です。これは、いわばオランダ語の入門書にあたり、後にこの部分だけが独立し、『蘭学逕』として刊行されています。

（佐藤家文書 和漢133「訳鍵凡例附録」）

レツアル	ン	イ	レ	レ	メルク	
ン	ア	ナ	ン	ア	ニ	ア
オ	ブ	オブ	オ	ブ	ニ	ブ
プ	ク	ПК	プ	ク	ニ	ク
グ	ド	クド	グ	ド	ニ	ド
ル	エ	レエ	ル	エ	ニ	エ
フ	ス	フス	フ	ス	ニ	ス
グ	テ	グテ	グ	テ	ニ	テ
ウ	ハ	ウハ	ウ	ハ	ニ	ハ
ウ	イ	ウイ	ウ	イ	ニ	イ
ウ	ジ	ウジ	ウ	ジ	ニ	ジ
ウ	ク	ウク	ウ	ク	ニ	ク
ウ	ル	ウル	ウ	ル	ニ	ル
ウ	ム	ウム	ウ	ム	ニ	ム

○十餘字様、定名二十六

修セス。故ニ當否ノ如キハ。妄ニ保ツ所ニ非ズ

オランダ語のアルファベットの発音と書体の一覧です。

月七 Julius.	月正 January.	○十二月	春 Lent.
月八 Augustus.	月二 February.		夏 Zomer
月九 September.	月三 Maartius.		秋 Herft
月十 October.	月四 Aprillis.		冬 Winter.
月十一 November.	月五 Mayus.		
月十二 December.	月六 Junius.		

○四時

四季および月の名をあらわすオランダ語です。英語と比較してみましょう。

短脈 共ニ網膜 左腎 且、ツ、共ニ、横、一、端、
 kortevaaten, met t net, linker nier, en zomryds met t middel-
 由、膜、彼、形、頗、似、於、
 ist door vliezen. haar gedaante is enigzints gelyk aan een
 牛一舌 此ハ木抵 六一拇、長、及、三、拇、廣、
 often tong: ze is omtrent zes duim lang, en drie duim bre-
 ed en ecnen duim dik: ze heeft (1) een slag-ader die van
 一、拇、厚、
 腹一動一脈 起、
 de buik-slag-ader voortspruit (2) heeft ze aderen die na de
 門脈 歸、
 vena porta te rug keeren. (3) Klieren die t bloed van de w-

液 潔淨 且、第、四、白、脈、共、水、
 aetachtige vochtigheid zuiveren, en (4) zenuwen en w-
 脈 行、
 ateryaaten loopende na de chyl-zak: t gebruik van de milt
 也、今、若、液、中、肝、
 is om de gal in de leven gemakkelijk af te scheiden.
 分、利、
 田、黃、
 鐵、粉、
 TINCTUR CHALYBIS
 R Chalybis limat. 引V.
 Vini albi 引V.
 Laat dit te zamen enige, tyd fraan tot de fraal

医学の文章を例題にしたオランダ語の解説例です。「脾臓」について書かれています。解説に当たっては、まず、それぞれの語句に訳をあたえ、その後、漢文読解で用いる返り点を付け、読み下しています。



史料3 吉田松陰江戸遊学時の金銭出納簿

『訳鍵』はオランダ語の入門書として初学者に親しまれました。

吉田松陰も江戸遊学に際してこの本を購入しています。嘉永4年8月5日に20目で購入したとあります。

(吉田松陰関係資料35「費用録」)

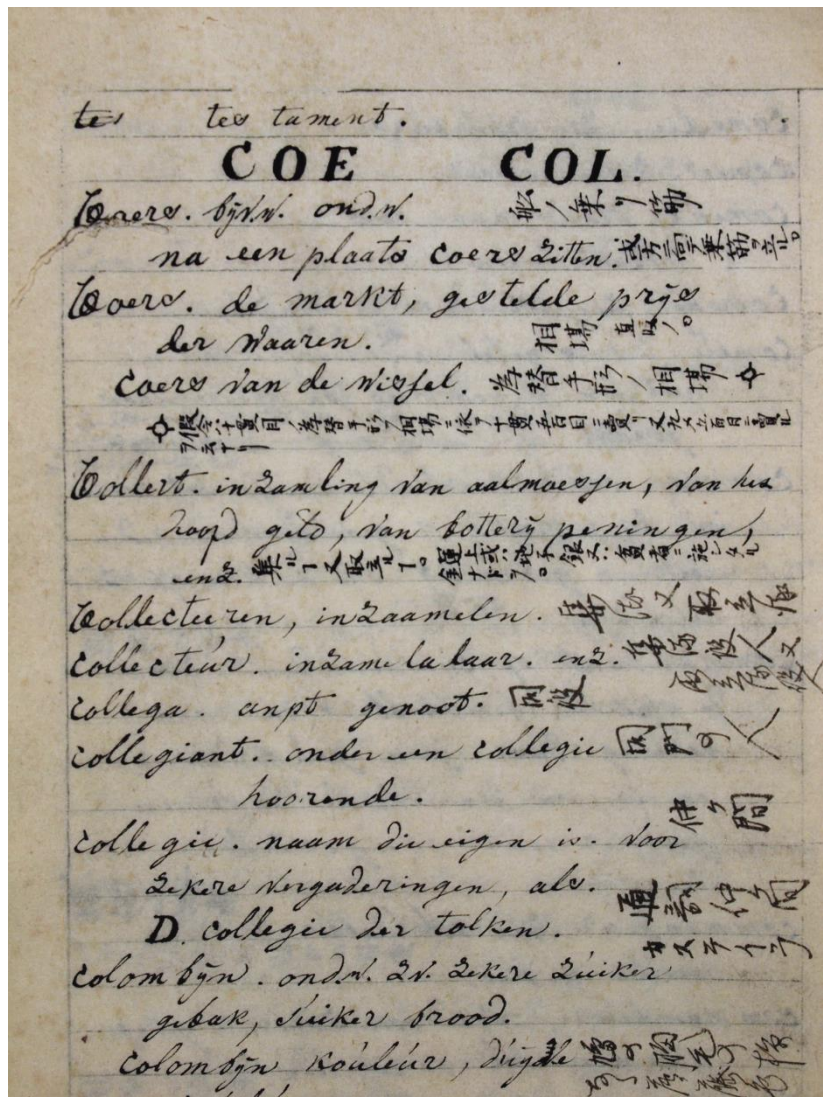
史料4 大村益次郎も筆写し勉強した和蘭辞典『ドーフ・ハルマ』

『ドーフ・ハルマ』はオランダ商館長ドーフが長崎の通詞らとともに作った蘭和辞典です。稲村三伯の『ハルマ和解』が「江戸ハルマ」と称されたのに対し、「長崎ハルマ」と呼ばれました。江戸時代の蘭学研究史上、頂点に立つ辞典です。

蘭学を学ぶ者にとって貴重なこの『ドーフ・ハルマ』は、筆写することにより広められましたが、緒方洪庵の適塾でも塾生は競ってこの辞書を筆写したと言われます。

展示史料は、大村益次郎の筆写とされる『ドーフ・ハルマ』です。大村は、オランダ語に加えて英語、数学なども熱心に学びましたが、その勉学の一端を物語る史料です。

(大村益次郎文書76「辞書(和蘭辞書)(5冊ノ内)四」)



オランダ語から英語へ

開国に伴い、外国語としては、英語が主に用いられるようになっていきました。

実は、オランダ語はドイツ語と非常に近い言語で、さらに、英語とも良く似ています。江戸時代に、オランダ語学習を通して高められた語学力のお陰で、明治維新以後の近代化がスムーズだったのかもしれませんが。



あれは 何ですか。

What is that? (英語)

Wat is dat? (オランダ語)

Was ist das? (ドイツ語)



これは 一匹の ネコです。

This is a cat. (英語)

Dit is een kat. (オランダ語)

Dies ist eine Katze. (ドイツ語)



わたしは リンゴを1つ 持っています。

I have an apple. (英語)

Ik heb een Apple. (オランダ語)

Ich habe einen Apfel (ドイツ語)